

2. 事業の概要と成果	
(1) 上位目標	(1) 教育(教室不足)環境の改善 (2) トイレや浄化槽、受水槽等衛生環境の改善 (3) 地域の待機児童や復学生への救済 (4) 新校舎維持管理のため地域コミュニティの組織化
(2) 事業内容	主な事業内容として… (1) 新校舎の規模は、R. C構造2階建て6教室で、校舎とトイレ及び付帯設備等を建築する。 (2) 什器備品(黒板、先生の机・椅子、児童の机・椅子)を設置する。 中間検査の内容… (1) 校舎は、 イ. 基礎工事完了。 ロ. 構造工事(柱、梁、スラブ、階段等)完了。 ハ. 壁 工事(1階、2階の外壁、間仕切り)1階完了。 ニ. 屋根工事 未着工。 (2) トイレ等は、 イ. 基礎工事完了。 ロ. 構造工事(柱、梁、スラブ等)柱完了。 ハ. 壁 工事(外壁、間仕切り等)外壁着工。 ニ. 屋根工事 未着工。 (3) 渡り廊下(校舎からトイレ)は、 イ. 基礎工事等未着工。

(3) 達成された効果	工事は工程通り順調に進捗している。 上位目標に対して現状は… (1) 教育(教室不足)環境の改善。 工程は約40%進捗。 (2) トイレや浄化槽等衛生環境の改善 工程は約15%進捗。 (3) 地域の待機児童や復学生への救済 本案件では、6月1日の始業式に新入生や待機児童を若干救済して仮校舎で194名で新年度の授業を開始した。 増員した分は、尼寺旧食堂を拡張して30名吸収した。 (4) 新校舎維持管理のため地域コミュニティ組織化。 具体的な活動はないが、工事着工後は、月一回のペースで会合を開き新校舎完成後の役割等協議して、建築現場を見学する。
(4) 今後の見通し	校舎建設工事は、11月初旬から屋根工事及び木工工事(扉、窓枠等)に着手する。 2階の壁工事(外壁、間仕切り等)完成次第、12月初旬から左官工事に入り、並行して建具工事に着手する。 12月上旬から内装(電気配線を含む)工事や塗装工事に入る。 最後に家具(黒板、机・椅子等)類を搬入し、据え付ければ新校舎は完成する。 一方、トイレ工事(浄化槽、受水槽含む)は11月下旬から屋根工事並びに壁(間仕切り)工事に着手する。 12月中旬からは校舎と同じ工程で進捗する。 今後、天候に異常気象が無ければ、新校舎及びトイレ工事は、1月下旬に予定通り完成の目処が建った。 その後、竣工検査実施。竣工式並びに引き渡し式を執り行う。